

情報教育年間指導計画

	各教科	総合的な学習の時間	道徳	特別活動	その他
指導のねらい	各教科において学習指導の道具・教材として、コンピュータ等の機器や情報ネットワークを有効に活用し、本校の学習指導の目標を表現する一つ的手段とする。	情報収集能力・情報発信能力の育成の学習手段として情報機器や情報通信ネットワークを活用し、生徒自ら学び、考え、主体的に判断し問題を解決する能力を身につけさせる。	情報モラルに関わる題材を生かして話し合いを深めたり、コンピュータによる疑似体験を授業の一部に取り入れたり、生徒の生活体験の中の情報モラルに関わる体験を想起させたりする。	情報モラルや情報リテラシー等の情報教育の理念を関連付け、個性・社会性・主体性の育成へ向けて教育活動の充実を図る。	・教師自身の情報活用能力の育成を図る校内研修を実施する。 ・保護者や地域への情報発信の手段の一つとして情報通信ネットワークを活用し、開かれた学校づくりを目指す。また、保護者を対象にした情報モラル教育を行い、学校と保護者が連携を取りながら指導を行う。
1学期	学習指導の道具・教材として、コンピュータ等の機器や情報ネットワークを、年間を通して活用していく。 (技術・家庭科) 「前期：7月～10月 後期：1月～3月」	1学年 「集団宿泊教室」(5月) 3学年 「進路についての取組」 (6月)	読み物資料としてテレビやビデオ、インターネット等の情報の活用(通年) ・情報モラルを題材した道徳的心情の育成	学級活動、生徒会活動、学校行事等の分野で情報機器や情報通信ネットワークを有効に活用し、情報モラルの指導を通して社会性を身につける。 ・ワープロソフトを利用した生徒会新聞等の作成(通年) ・プレゼンテーションソフトを利用した発表(通年)	・ホームページを更新し本校の教育活動等を保護者や地域の方々に紹介する(通年) ・情報モラルについての講話を保護者向けに行う(P T Aと連携・講師招聘)(7月) ・校内研修(4月、8月、随時)
2学期	情報とコンピュータの領域において次のねらいを基に学習活動を行う。 ①情報と生活のかかわりを知る。 ②情報機器の基本的な操作方法や構成理解する。 ③ソフトウェアを活用する。 ④情報ネットワークについて理解を深め、適正な情報発信能力を身につける。 ⑤情報モラルやマナー、著作権を守る態度などを養う。	1学年 「地域調べ」(9月) 2学年 「職場体験学習」(9月) 「修学旅行」(12月) 3学年 「福祉体験学習」 (9月～10月) 「進路についての取組」 (9月～10月)	1年 『短文投稿サイトに友達が悪口を書く』 2年 『ゴール』 3年 『ある日の午後から』 『スマホに夢中!』 『合格通知』	・ワープロソフトを利用した生徒会新聞等の作成(通年) ・プレゼンテーションソフトを利用した発表(通年)	
3学期		・インターネットを利用した調べ学習(通年) ・コンピュータを利用したグラフ、パンフレットの作成 ・プレゼンテーションソフトの活用(通年)		・ホームページを利用した情報発信能力の育成と情報モラルの意識(通年) ・情報モラル教材を用いた学習(4月7月12月3月)	

<情報活用能力>

A. 知識及び技能

- 1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
- 2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解
- 3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解

B. 思考力、判断力、表現力等

- 1 問題解決・探究における情報を活用する力
(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)

C. 学びに向かう力、人間性等

- 1 問題解決・探究における情報活用の態度
- 2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度